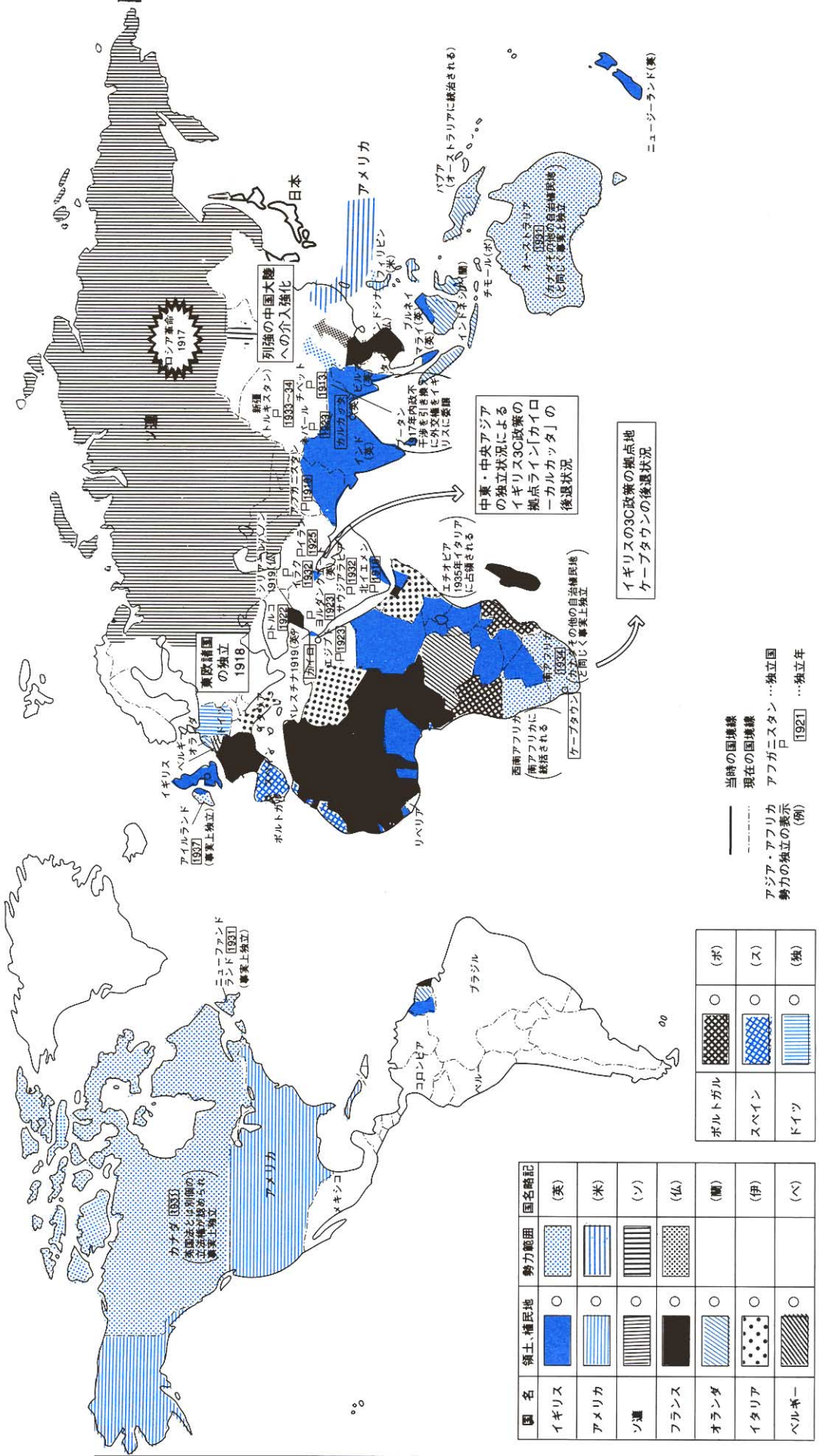


〈地図7〉

第一次世界大戦後  
 中近東・中央アジア・東欧の独立状況及び、  
 列強の中国介入強化と大東亞戦争の原因



国名	領土、植民地	勢力範囲	国名略記
イギリス	○	縦線	(英)
アメリカ	○	横線	(米)
ソ連	○	斜線	(ソ)
フランス	○	点線	(仏)
オランダ	○	斜線	(蘭)
イタリア	○	点線	(伊)
ベルギー	○	斜線	(ベ)

ポルトガル	○	縦線	(ポ)
スペイン	○	横線	(ス)
ドイツ	○	斜線	(独)

——— 当時の国境線  
 - - - - - 現在の国境線  
 □ アジア・アフリカ  
 □ アフガニスタン …… 独立国  
 □ …… 1921 …… 独立年  
 (例)

イギリスの3C政策の端点地  
 ケープタウンの後退状況

中東・中央アジア  
 の独立状況による  
 イギリス3C政策の  
 端点ライン「カイロ  
 - カルカッタ」の  
 後退状況

西南アフリカに  
 統括される  
 ケープタウン  
 (と併しく事実上独立)

エチオピア  
 1935年イタリヤ  
 に占領される

17年以内  
 干渉を引換に  
 外交権をイキ  
 リスに返還

列強の中国大陸  
 への介入強化

東欧諸国  
 の独立  
 1918

ロシア革命  
 1917

ニュージーランド(英)